

別記様式第2号

持続的生産強化対策事業のうちジャパンフラワー強化プロジェクト推進(令和5年度)に関する事業評価票

| 都道府県名 | 市町村名 | 事業実施主体名 | 対象作物 ・畜種名 | 事業実施 初年度 | 成果目標の具体的な内容 | | 成 果 目 標 の 達 成 状 況 | | | 評価機関名 具体的な取組内容 | 東北農政局 農林水産省農産局、畜産局、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見 |
|-------|------|-----------------|--------------|-------------|--------------------------------------|-------------|-------------------|--------------|-------|---|---|
| | | | | | | 目標値 | 基準年 | 目標年 令和6年度 | 達成率 | | |
| 青森県 | — | 青森県花のくにづくり推進協議会 | 花き | 令和5年度 | 青森市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の3%以上増加 | 10,034円 | 9,742円 | 7,741円 | -685% | ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育・園芸体験実施 | 花きの購入額の少ない50代以下の社会人に対象を絞ったフラワーアレンジメント体験や児童・生徒等を対象とした花育・園芸体験を通して、花に触れあう機会を増加させることで、花きの効用が理解され、花きの消費拡大につながる意識の変化がみられたものの、成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。 |
| | — | | 花き | 令和5年度 | 活動区域における「トルコギキョウ」出荷額の3%以上増加 | 2,197千円/10a | 2,133千円/10a | 2,441千円/10a | 481% | ・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 | 成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。 |
| 岩手県 | — | いわて花と緑の普及協議会 | 花き | 令和5年度 | 活動区域における花きの10a当たり収量の3%以上増加 | 19,320本/10a | 18,757本/10a | 16,347本/10a | -428% | ・生産供給体制強化のための技術実証実施 | 県内生産の多い施設花き品目(トルコギキョウ、ゆり)について、LED電照の利用や土壤水分モニタリング技術に関する実証を行い、開花期の前進や、かん水管理の徹底が図られた。一方で、近年の夏期の高温により、本件の主力品目であるりんどう等の収量が低下しているため、成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。 |
| | — | | 花き | 令和5年度 | 活動区域における花き販売金額の3%以上増加 | 3,140,693千円 | 3,049,216千円 | 2,841,859千円 | -227% | ・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動実施 | 生産者の高齢化に対応する省力化技術の開発・普及や県内における各プロモーション活動を通じた県産花きの利用拡大を図っているものの、夏期の高温による収量の減少や生産者の減少により、成果目標の達成には至らなかった。このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。 |
| 宮城県 | — | 宮城県花と緑普及促進協議会 | 花き | 令和5年度 | 活動区域における花きの新たな輸送手段の1つ以上増加 | 2つ | 1つ | 2つ | 100% | ・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 | 成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。 |
| | — | | 花き | 令和5年度 | 小輪ひまわりの10a当たり収量の5%以上増加 | 35千本/10a | 33千本/10a | 35千本/10a | 100% | ・生産供給体制強化のための技術実証実施 | 成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。 |

| 都道府県名 | 市町村名 | 事業実施主体名 | 対象作物 ・畜種名 | 事業実施 初年度 | 成果目標の具体的な内容 | 成 果 目 標 の 達 成 状 況 | | | 具体的な 取組内容 | 農林水産省農産局、畜産局、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見 | |
|-------|------|-------------------|--------------|-------------|--------------------------------------|-------------------|-----------------|-----------------|--------------|--|--|
| | | | | | | 目標値 | 基準年 | 目標年 令和6年度 | 達成率 | | |
| 秋田県 | — | 秋田県花きイノベーション推進協議会 | 花き | 令和5年度 | 活動区域における花きの販売業者の取扱数量の3%以上増加 | 6,992千本 | 6,788千本 | 5,975千本 | -399% | ・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・花き需要拡大のためのワークショップの開催、花育体験実施 | 生産者と実需者の情報交換により、花の需要状況は把握できており、ワークショップや花育体験により、県内消費者が花に触れる機会は増加している。令和6年は、高温・少雨の影響により品質低下や枯死した品種があり、秋田県内の花き生産量は平年より減少した。花き生産量の減少に加えて、秋田県產品の首都圏への出荷が増加しており、成果目標の達成には至らなかつた。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。 |
| | — | | 花き | 令和5年度 | 活動区域における花きの新たな販売形態の1つ以上増加 | 1形態 | 0形態 | 1形態 | 100% | ・生産供給体制強化のための技術実証実施 | 成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。 |
| 山形県 | — | 山形県花き生産連絡協議会 | 花き | 令和5年度 | 山形市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の3%以上増加 | 10,035円 | 9,743円 | 10,870円 | 386% | ・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育体験実施 | 成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。 |
| 福島県 | — | 福島県花き振興協議会 | 花き | 令和5年度 | 活動区域における花きの10a当たり収量の3%以上増加 | 12,997千本・千鉢/10a | 12,618千本・千鉢/10a | 12,698千本・千鉢/10a | 21% | ・生産供給体制強化のための技術実証実施 | 実証ほの設置及びマニュアルの作成・配布による生産体制強化により花きの10a当たり収量が基準年を上回ったが、成果目標の達成には至らなかつた。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。 |
| | — | | 花き | 令和5年度 | 福島市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の3%以上増加 | 13,401円 | 13,011円 | 15,786円 | 712% | ・花き需要拡大のための品評会の開催、花育体験の推進 | 成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。 |

(注1)成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、適宜列を挿入し記載するものとする。

(注2)達成率は、(目標年年度実績－基準年年度実績)/(目標値－基準年年度実績)×100を記載すること。